

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	政治学		
担当者(Instructors)	竹野 貴子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>身近な政治の話題を通じ、その背景にある政治の仕組みについて理解を深め、広く見識を養い、自ら今後の政治やその課題について考えることを目的とする。本講義では、選挙制度や民主主義などの政治学の概観を検討するとともに、地方自治や行政、国会などの身近な政治の話題にも触れる。またプレゼンテーションなどの機会を積極的に活用し、自らの意見をもつとともに、他者との議論を通じて多様な見方を知った上で、多様性を尊重する力を養うことを目指す。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<p>毎回パワーポイントやプリントを使用し、講義を進める。また第9回には受講生同士で、政治に関連する話題についてプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションについては、予め提示したテーマに沿って事前にレポートを作成し、グループならびに全体でのプレゼンテーションを行う。</p> <p>受講生には、毎回課題レポートを記入する時間を設け、講義終了後に提出してもらい、平常点を算出する。また第9回の講義で行うプレゼンテーションに向けた、加点の対象となる事前準備課題を付す。また受講生の人数に応じて小テストまたはレポートのいずれかを実施する。</p>

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	今日の政治と政治学	本講義の概要ならびに第9回で行うプレゼンテーションについて説明する。選挙や人権などの身近な話題や、権力とは何か、自由とは何かをディスカッションを交えて考えた上で、今日の民主主義やその課題について考える。	□
第2回	選挙について考える	現在、日本では18歳から選挙権があり、高校生から投票できるようになった。そこで、選挙に行くメリットとは何かについて考える。また、選挙には様々な制度が存在する。それら制度の多様性を学ぶ。	□
第3回	投票行動について考える	有権者の視点から、選挙を考えてみよう。選挙に行くとき、どのような判断をして投票するだろうか？ある立候補者を支持する有権者には何か共通の属性があるのか？社会学・心理学・経済学を用いた議論をもとに考える。	□
第4回	世論について考える	ニュースでよく耳にする「世論調査」に回答したことはあるだろうか。世論調査とはどのように行われているのか。民主政治において政治を動かす力を持つ世論やマスメディアについて考える。	□
第5回	地方自治とは何か①	人々が暮らす町に身近に存在する政治機関が地方自治体である。保育園への入園、バスの使いやすさなど、様々な話題とつながっている地方自治の仕組みについて、考える。	□
第6回	地方自治とは何か②	第5回で学んだ仕組みに基づき身近な地方自治について学ぶ。地方自治体の特色豊かな「トマトで健康づくり条例」等の条例や地域創生について考える。また住民からの陳情・請願を通じた政府への働きかけについて学ぶ。	□
第7回	行政について考える	日本の内閣総理大臣(首相)とはどのような人がなるのか。イギリスにも首相がいるが、どのようなことを行っているのか。大統領とは異なるのか。行政の中心にある内閣について考える。	□
第8回	国会とは何か	「永田町」、「霞が関」とは何を指すのか。「省庁」は実は教科書、環境、マンガなど我々の日常生活において身近なものとなっている。法律をつくる立法機関である国会の役割について考える。	□
第9回	プレゼンテーション	グループに分かれ、地域活性化についてプレゼンテーションを行う。事前課題レポートを参照しながらプレゼンテーションを行うとともに、プレゼンテーションの中で生じた疑問について、さらに議論を行うことで理解を深める。	□

第10回	政党とは何か 利益集団とは何か	日本の政界では政党が新しく結成されたり解散があったりするなど、様々な変遷をたどってきた。政策実現を目指す集団である政党と、市民社会において「共通の利益」の実現を目指す団体である利益集団について考える。	<input type="checkbox"/>
第11回	政治とイデオロギーについて考える	政治の「保守」とは何か、「革新」とは何か。日本政治の対立軸は時代とともに変化し、それに伴い世代間でも認識が異なる事態が起きている。その背景にある政治的イデオロギーについて、考える。	<input type="checkbox"/>
第12回	国家とは何か	「国家」とはなんだろうか。日本、スペイン、アメリカなど今日の「国家」はウェストファリア体制の後にできた。さらに、国家と国家の関係は外交という形で存在する。今回は、国家について考える。	<input type="checkbox"/>
第13回	米中新冷戦とは何か	現在緊張関係にある米中関係は、新冷戦とも呼ばれる。米中両者の経済制裁が加速する新冷戦について学ぶ。また、地理的に間に位置する日本の戦略に影響を与えてきた日米同盟とは何かについて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第14回	米軍基地問題とは何か	米軍の世界最大の基地が沖縄にあるのはなぜか。日米地位協定や歴史の理解を通じ、アメリカから見た沖縄、沖縄からみたアメリカについて考える。	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	これまでの講義のまとめとともに、特に受講生が関心をもった話題についてペアないしグループワークを行い理解を深める。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の講義の最後に次回の講義のテーマを提示するので、各自参考図書等を用いながら、関連する話題を図書館やインターネットなどで調べること。レポートあるいは小テストの準備を行うこと。（2時間程度を目安とする）。事後学習には、講義の復習を行うこと。また、第9回で行うプレゼンテーションに向けた課題を提示するので、それに沿って準備を行うこと（2時間程度を目安とする）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の講義終了後に受講生が提出した課題レポートならびに第9回に行うプレゼンテーションの事前課題について、回答が必要と判断したコメントについては、次の講義でフィードバック・解説を行い、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	①政治や選挙などの仕組みについて説明することができる。 ②政治的事象について、政治学の観点から主体的に分析することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

■授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験：受講人数に応じて小テストまたはレポートを実施する（20%）、その他：授業参加度（40%）、プレゼンテーション関連課題ならびにプレゼンテーション（40%）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（特に指定しない。適宜参考図書を参照すること。）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)

1	中田普自、松尾秀哉、臼井陽一郎、金敬黙、平賀正剛 編『入門政治学365日』（ナカニシヤ出版、2019年）、ISBN: 4779512808	
2	日本ニュース時事能力検定協会（監修）『2022年度版ニュース検定公式テキスト&問題集「時事力」基礎編（3・4級対応）』（毎日新聞出版、2022年）、ISBN: 4620907537	
3	新聞各紙	
4		
5		